毎日のお仕事、組合活動ご苦労さまです
組合費・国保料などは
毎月群会議で納入


2ヵ月めを遅れる方は「資格継続願い」を提出して下さい

けんせつ北部
（購読料は組合費の中に含まれています。）
定価30円
発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋5―22―15
※板橋〈3963〉５３２５
電話　練馬〈3825〉５５２２
北〈5390〉６０２１
豊島〈3986〉２４７１
発行人　代表者　川合　正人
発行日　1日、9日、17日、25日

拡大月間を成功させよう

秋の活動者会議
担い手３法の学習、分会経験報告など


参加者で「団結ガンバロー」を行い閉会しました

8月23日、板橋区立文化会館で、秋の活動者会議を開催、105人が参加しました。

成瀬委員長のあいさつ、来賓あいさつのあと、本部賃金対策部の佐藤専従常任から「根拠を持って請求・要求しよう　適正な労務費確保で、賃金・単価引き上げを勝ち取ろう！」との講演がありました。建設産業をめぐる情勢や、「第三次担い手3法」の概要、標準見積書の作成のポイントなどについて学習しました。

次に小林書記長が基調報告を行いました。今年前半の取り組み、住宅デーや土建国保を守るハガキ要請行動、首都圏建設アスベスト訴訟などについて述べました。

全分会目標達成・全群成果を目指し

昼食・休憩をはさんで秋の拡大方針案を提案。「群会議への結集と訪問対話、仲間のつながり強化で実増を意識した秋の拡大月間にしよう」と呼びかけ、全分会目標達成・全群成果を目指して取り組もうと訴えました。



あいさつする成瀬執行委員長

分会経験として、蓮根分会から「新たな役員の発掘」と題して、空いた専門部長の後任を選出した経験などを報告。徳丸分会からは「分会長とした取り組んだこと」を報告、分会六役専門部会議や分会執行委員会の進行について工夫していることなどを述べました。

また7つの分散会が少人数で行われ、学習会や基調報告の感想や各分会の経験交流など活発に討論しました。

原水禁世界大会に参加の3人から報告

分散会後の再開された全体会では、原水爆禁止世界大会に参加した3人からの報告（2・3面に掲載）、丸谷厚生文化部長から「運動会を成功させよう」との訴えがあり討論のまとめを平塚書記次長が行い、遠藤副委員長の団結ガンバローで閉会しました。

秋の拡大月間
ベテランの方々が手際よく作業

大谷口北分会は8月30日、日曜日に立て看板設置を行いました。8人が参加しました。朝方の雨もやみ、活動しやすい天候でした。皆さんベテランの方々なので手際よく作業は進みました。

その後、分会センターで秋の拡大出陣式を行いました。支部の書記さんによる土建国保の就業実態区分の定義に関する勉強会がありました。参加者で拡大月間目標を達成しようと乾杯しました。


大谷口北分会の拡大出陣式

【大谷口北分会　森江里子】

東京土建　秋の拡大月間
組織拡大にご協力ください

組合未加入のお知り合いがいましたらご紹介をお願いします

秋の拡大月間（９～10月）の取り組みがすすめられています。タテカン設置やポスター貼り、チラシまきにも取り組みました。

仲間のみなさん、建設業で働く、組合未加入の仕事仲間、ご近所の方、お知り合いの方がいましたらご紹介をお願いします。

東京土建板橋支部までご連絡ください☎03-3963-5325



立て看板を設置する新赤塚分会の仲間

秋の拡大月間の目標

①分会は１月現勢の３％に夏の残数を足した年間目標をやり切る
②一人でも多くの行動参加・協力者（分会活動の中心メンバー）を増やす
③大会議案での提案11月１日登録4550人支部実現に向けて、年間目標を大幅超過するように各分会の組織人数を意識し定着加入で実増を目指し、少しでも近づけます
④支部の目標については、３％（131人）と本部目標（3.5％）を達成するように取り組みます
⑤全分会目標達成・全群成果を目指します

とんかち談義

8月5日の閣議決定により、2027年4月以降、2年間に限り、食料品の消費税率を現在の8％から1％に引き下げ、さらに、食料品の価格の1％相当額を給付することが決定しました▼8月末の世論調査では、賛成54％、反対40％（読売）、賛成55％、反対37％（朝日）と賛成が上回ります。消費税減税の要求が根強いことを表しています。同時に財源への不安も強く「朝日」では77％が「財源を明確に示すべきだ」と答えています▼減税分が本当に100％消費者に還元されるか、ということも言われています。需要と供給のバランスによっては小売業者や流通業者がコスト上昇分を補填するために価格を据え置き、減税分が消費者の利益にならずに企業に吸収されてしまう可能性が指摘されています▼自民党内からも「法人税を上げるとか、何かそういう恒久財源を見つける」との声が出ているとも言います▼恒久財源がなければ2年後には1％から8％への大増税。消費税を限定付きではなく、一律5％に引き下げ、廃止を目指すことが必要です。

原水禁大会

核兵器のない平和で公正な世界へ

板橋支部から3人参加



広島県立総合体育館（グリーンアリーナ）で行われた
ヒロシマデー集会に3400人が参加しました

米国が原爆を投下してから81年となる「原爆の日」を迎えた広島で8月6日、原水爆禁止2026年世界大会ヒロシマデー集会が開かれ、3400人が参加しました。東京土建板橋支部からは成瀬晃一執行委員長、丸谷智輝青年部長、丸谷美由紀女性の会事務局長の3人が参加しました。

集会は「『核兵器のない平和で公正な世界』への希望をきりひらくため、新たな決意で行動に立ち上がろう」と訴える決議「広島からのよびかけ」を採択しました。



会場の壁面に飾られた、平和行進支援のペナント（手前）に囲まれるなか、各地からの核廃絶の決意が語られたヒロシマデー集会＝6日、広島市中区

被爆者の訴えと原水禁運動の力

8月6日は人類の歴史に永久に刻まれる日です。核兵器が使われたらどうなるかを現実に示し、それ以前と以後とで人類の未来を変えました。

核軍拡競争が続く一方で、「ヒロシマ」「ナガサキ」から80年以上、核兵器は使われてきませんでした。それをさせてきたのが悲惨な被爆の実相を伝え、核兵器の廃絶を求める被爆者の訴えであり、営々と続けられてきた原水爆禁止運動の力です。日本には、唯一の戦争被爆国として被爆の実相を世界中に伝え、核兵器を廃絶させる資格と責任があります。

原水禁2026世界大会報告

核兵器は人類と共存出来ない

執行委員長　**成瀬　晃一**

まず初めに皆さんからのあたたかいカンパにより今年の原水禁世界大会に参加させていただきましたことに感謝いたします。

東京からはるばる800㎞の道のりを経て、広島に到着し、早々に原水爆禁止2026世界大会のメイン会場に向かいました。『被爆者と共に核兵器の無い平和で公正な世界を』と銘打った国際会議の大きな会場での多数の参加者にまず圧倒されました。

開会総会が始まり、広島市長をはじめ日本原水爆被害者団体協議会代表、各国政府のあいさつに続き、ディスカッションが行われました。特に印象に残ったのは、核保有国と核依存国の複雑な関係性の中で、日本の役割は平和のリーダーとして先頭に立っていかなくてはならないという事でした。夜には板橋原水協代表団25人のメンバーと懇親会を行いました。翌日の分科会と平和公園周辺の碑巡りについての話題で、もちきりとなり、平和や核、戦争について考える一日となりました。

非核三原則を守り抜く

二日目の分科会は『ストップ9条改憲・戦争準備大軍拡守ろう　平和と暮らし』に参加しました。分科会の中でフィリピンからの報告があり、米軍基地再開の動き、合同訓練、軍事予算の倍増など、今の日本に似ている事や、アメリカからの要望で平和条項を変える改憲の動きもあり、日本と連帯する必要性を訴えていました。衰退する大国が死にもの狂いになっている中、各国は核保有の野心を抱いているのではないかと思いました。日本は国民が政治を動かす事で、非核三原則を守り抜かなければならないと改めて感じる分科会でした。

その後の平和公園周辺の碑巡りは本当に暑い午後に行われました。写真でしか見たことがない原爆ドームを間近で見た時には畏敬の念を抱きました。日本人だけではなく、外国の慰霊碑も数多くみられ、被爆者は世界中にいるんだと痛感しました。峠三吉の詩碑の一節で『わたしにつながるにんげんをかえせ』には本当に胸を打たれました。また、原子爆弾が上空で炸裂した直下とされる場所に行った際は思わず空を見上げてしまい、当時の状況を考えながら、落ちてくる様子を想像し息を呑みました。

日本が核廃絶のリーダーシップを

最終日の閉会総会では、沖縄県知事による、メッセージで会場全体が高揚感で満たされていました。各国政府のメッセージ紹介で共通していたのは、いかに日本が核廃絶のリーダーシップを取る事に期待しているという事でした。

国際会議宣言では『核兵器は人類と共存出来ない』とあり、日本の決意は『非核三原則と憲法九条を守り抜くこと』『核抑止力ではなく、核廃絶に向け、リーダーシップを取らなければならないこと』を高らかに宣言されました。最後に文書提案と採決の後に感動のフィナーレで無事に閉会となりました。

最後に、平和記念資料館での出来事ですが、学生をはじめ、若い方が真剣な表情で見学する姿を見て希望を持ちました。資料館は人が多く混雑していたため、全てを見学することができなかったので再度訪れてみたいと思っています。

本当に充実した3日間になりました。改めて、今回の原水禁世界大会へ送り出していただいた、皆さんに感謝するとともに、今後も皆さんと共に平和運動に取り組んでいくことを誓います。ありがとうございました。

世界から戦争が無くなっていくことを信じて

青年部長　**丸谷　智輝**

はじめに貴重な体験ができて本当に良かったと思っています。私は、中学生の頃に広島に修学旅行で行きました。原爆ドームの見学や被爆した方の話も聞きましたが、その時はそんなに深く考えず可哀想だと思っただけでした。しかし、今回参加して歳を重ねたこともあり、本当に様々な事を考えました。

まずおどろいた事が、原爆が落とされた時に広島市内に35万人の方がいてそのうち14万人の方が亡くなってしまった事を知りました。そして、中学生の犠牲者が6300人という事にも衝撃を受けました。戦争が起こるとこんなにも犠牲者が出るんだということが分かりました。本当に怖い事だし、本当に戦争はしてはいけないと思いました。そして、なぜ広島に原爆が落とされたのか…。考えられるのは軍事工場があったからと推測されています。軍事工場があるからと広島に原爆が落とされ、関係のない人が亡くなってしまうなんて本当に悲しい事です。広島の人の中には復讐を考える人もいたそうです。これほど怖いことが起きたのに今もまだ海外では、戦争をしている国があります。本当に戦争をする理由が理解できません。

声を出し続けて

なかには助かった人もいますが、その人たちは家族との連絡も取れず探し回っていました。奇跡的に助かった人にも怖いことが訪れます。それは被爆です。そのせいで、3カ月後、半年後、数年後と白血病になった人や癌になった人も多くいました。もうこんなに辛い目に遭ってほしくないと被爆者の方は言っていました。なぜこんなに辛い目にあって思い出したくない過去を私たちに話してくれるのかと質問した人がいました。被爆者の方は言いました。もうこんなことが起きてほしくない。もうこれ以上犠牲者を増やしてはならない、だからこそ広島の人たちはずっと声を出して訴えていると…。広島の方が辛い目にあいましたが、一番行動しているのも広島の人です。戦争反対とずっと訴えていました。

行動すればするほど平和に近づいていく

その時、私は思いました。なぜ自分たちは何もしていないのか、今回で気づきました。これは自

【3面へ続く】

【2面から続く】

子どもたちに戦争のない平和な未来を残したい

女性の会事務局長　丸谷　美由紀

分たちのため広島で亡くなった方たち苦しんだ方のためにもこんな戦争は絶対に起こしてはいけないのだと。今回一番学んだ事は平和の2文字です。平和とは何か？　考えてみるととても難しいと思います。なので被爆者の方に聞いてみました。平和とは何ですか？

　被爆者の人は…平和とはボランティア活動、デモ活動、スポーツ、なんでもいいので行動する事、その一つ一つが平和に繋がっていくと話してくれました。自分は何も力になれないとか、そんなことないんです。みんな一人一人が絶対にできることがあるはずです。もっと戦争は怖いことだと知ってもらう必要があります。もしかしたら私たちが住んでいる東京に原爆が落とされる可能性だってあるんです。そのように考えると今すぐに行動に移さないとダメだと思います。皆が行動すればするほど平和に近づいていくと考えています。今の日本はとても安全で子どもたちはすごく元気に育っていると思います。とても良いことだけど、亡くなった方たちの悲しみの気持ちが消えてしまうのはとても辛い事だと思うので、それを代弁できるように行動をしようと決意しました。

　最後にこの世界から戦争が無くなっていくことを自分は信じています。そして広島の方たちのためにも皆で協力して平和な国にしていこうと思います。このような機会を設けていただきまして本当に感謝しています。この3日間の話は絶対に忘れません。勉強になりました。ありがとうございました。

　一番強く思ったのは、原水禁世界大会に参加し、戦争や核兵器について改めて深く考える機会になりました。今回、息子と一緒にこの大会に参加できたことも、私にとって大きな意味がありました。

　これまで私は、戦争について「二度と起こしてはいけないもの」と考えてはいましたが、どこか遠い昔の出来事のように感じていた部分もありました。しかし、実際に被爆された方のお話を聞き、当時の苦しみや悲しみを知る中で、戦争は決して過去の出来事ではなく、今を生きる私たちが真剣に考え続けなければならない問題なのだと感じました。



原爆ドームの前で、成瀬委員長（中央）、
丸谷青年部長（右）、
丸谷女性の会事務局長（左）



原爆犠牲ヒロシマの碑

核兵器のない世界を願う気持ちを持ち続けること

　今回、息子と一緒に参加したことで、親子で平和について考え、話すきっかけにもなりました。私たち大人が平和の大切さを伝え、次の世代へつないでいくことも大切な役割だと思います。

　戦争のない国、核兵器のない世界を願う気持ちを、一人ひとりが持ち続けること。そして、その思いを行動につなげていくこと。今回の大会で感じたことを忘れず、これからも子どもたちの未来のために平和を願い続けていきたいと思います。

　最後になりましたが、今回、原水禁世界大会に参加するにあたり、多くの方々にご協力やお力添えをいただいたからこそ、息子と一緒に貴重な経験をすることができました。本当にありがとうございました。

青年部部会＆交流会企画

e-スポーツ交流会　ゲーム交流会

【日　　時】11月７日（土）19時30分～
【場　　所】支部会館５階
【参加対象】青年部、青年層（30歳以下）組合員、青年層と一緒に参加してくれる役員・事業主
【参 加 費】1,000円

　ピザや寿司などの料理と飲み物を用意します。ゲームをおこないながら青年の交流ができる場としていきます。青年部としても電話掛けや訪問行動でお誘いしますが、分会・群でも開催の案内、声掛けお願いします。特に青年部長未選出、部会の参加の無い分会はより一層お願いします。

　お申込み・お問い合わせ東京土建板橋支部☎03―3963―5325

2026年東京土建板橋支部 後期高齢者対策

日帰りバスハイク

伊香保温泉・ひびき野（昼食）と八ッ場ダム見学、佛光山法水寺参拝の旅

日時：11月11日（水）
出発：７時30分
◆集合：東京土建板橋支部事務所前
◆会費：8500円（75歳以上の組合員・配偶者は8000円）
☆参加対象☆　75歳以上の組合員と配偶者、イキイキ会（65歳以上）会員と配偶者
問い合わせ・お申し込みは　板橋支部　☎03―3963―5325　FAX03―3962―0392



事業所セミナー＆名刺交換会

　「組合員同士で仕事のつながりを作りたい」という要望は少なくありません。事業所が組合に加入している優位性を引き上げるため、事業所の仲間の結集を目的に開催します。秋の拡大月間の対話材料として広く呼びかけ、参加をきっかけに組合接近をはかります。

【日　時】　11月21日（土）19時～
【ところ】　支部会館５階
【内　容】　助成金活用セミナー・名刺交換・飲食交流
【対　象】　法人・個人問わず事業主あるいは番頭（組合員）
　…分会に定着させたい有望な後継者・働き盛り世代層を積極的に呼びかけください。
【参加費】　一人1,000円
※当日は、名刺を忘れずにお持ちください。また、アルコールを用意しますので、公共交通機関でお越しください

　お申込み・お問い合わせは東京土建板橋支部☎03―3963―5325

後継者対策部主催 スポーツイベント



フットサル交流会

【日　時】10月25日（日）13時～16時
【会　場】レストフットサルシティ戸田
（埼玉県戸田市上戸田90　ＪＲ戸田駅東口徒歩３分　屋内全天候型）
【参加費】大人1,000円、中学生以下500円、未就学児無料

　フットサルコート２面を使用して、１面は大人で試合ができるようにして、もう１面は子ども・ファミリー層向けに開放して親子で楽しめるような企画を実施します。２時間各コートでそれぞれ楽しんだ後に、１時間全体でビンゴなどをおこない交流できる時間を設けるようにします。先着50人とし、超える場合は要相談。早めのご予約をお願いします。

　お申込み・お問い合わせは東京土建板橋支部☎03―3963―5325

歌舞伎の始祖といわれる阿国の生涯を追った有吉佐和子の名作を原作に、1972年の初演以来、華やかな踊りが散りばめられた情熱的な舞台は、幾度となく再演を重ねてきました。今回の上演では、阿国を浜名美貴さん、伝助に松井誠さんの配役で公演いたします。東京公演は10月17日（土）～24日（土）です。

○東京土建統一観劇日

【日時】 10月18日（日）15時開演

【場所】 日本橋三越劇場（日本橋三越本店本館6階）

【観劇料】 9、000円が4、000円に（本部補助、支部補助を含む）

究所／幡鎌秀一・前野中台分会☎080―5576―4473／有資格者※求人・求職の掲載のお申し込みは支部事務所☎03―3963―5325まで。本紙と「群会議の話題」に掲載します。

求人・求職コーナー

求人

○建築施工管理技士・土木施工管理技士・電気工事現場管理　社員等2人／㈱ハタ未来デザイン研

健康に生きる

災害時、命を守る備蓄水

薬剤師　**藤竿伊知郎**

地震や台風などの災害によりライフラインが止まったとき、命と健康に最も大きな影響を及ぼすのが「水」です。そのため、政府の防災マニュアルでは「1人1日あたり3リットル（L）」を3日分備蓄するよう勧めています。公的支援が届くまでの飲料用と調理用の水です。

人が生きていくために最低限必要な水分は、安静にしていても1日2・5Lです。尿や便として1・6L、呼吸や汗として0・9Lが体から失われるため、その分を飲食で補わなければなりません。尿の量が1日0・5Lを下回るぐらい水分が不足すると、血液の流れが悪くなるなど、体に深刻な影響が出ます。

3Lという数値の基になっているのは、人道支援の国際基準「スフィア・ハンドブック」です。

そこでは、生きるために必要な飲用・食料分の水分量は1日2・5～3L、基本的な衛生には1日2～6L、基本的な調理には1日3～6Lとされています。

3Lのうち2割ほどは、食事からとる想定です。災害時は暑さやストレスによる発汗・発熱・下痢などで必要な水の量が増えます。高齢者や妊婦、子どもへの配慮も欠かせません。

手洗いや食後の口の洗浄など、感染症を防ぐための利用も大切です。備蓄から時間がたった水は衛生用として使いましょう。

また、体内の老廃物をきちんと排出するためにも、安心してトイレに行ける環境を整えておくことが大切です。

女性健診のご案内

気になる女性ならではの病気。乳がん・子宮がん…この機会に受診しましょう

【日時】11月14日（土）午前中

【場所】板橋区立グリーンホール2階ホール（東武東上線「大山駅」徒歩5分、都営三田線「板橋区役所前駅」徒歩3分）

【内容】基本健診、乳がん検診（エコー検査）、子宮頸がん検診、大腸がん検診、腹部エコー

※オプションのみの受診はできません。

【受診対象者】女性組合員及び土建国保に加入されている18歳以上（高校卒）の家族被保険者

【定員】100人

【費用】土建国保に加入している方もしくは組合員の方は基本健診無料。

乳がん検診、大腸がん検診、腹部エコーは各1,000円、子宮頸がん検診500円。

※託児スペースを設けます。

【申し込み締切】10月30日（金）

定員に達し次第締め切ります。

問い合わせ先／東京土建板橋支部

☎03―3963―5325

お知らせ

なんでも相談会（板橋社保協）

（日時）10月2日（金）午後1時～4時

（場所）グリーンホール隣さんかく公園

「相続」対策セミナー（事業所分会）

（日時）10月8日（木）午前10時～

（場所）板橋支部会館

※参加費無料

板橋九条の会　講演のつどい

「平和と自由を市民の手に！」

（日時）10月11日（日）午後1時30分開会

（場所）板橋文化会館4階大会議室

（講師）五野井郁夫（高千穂大学教授）

板橋支部事務所を閉めさせていただきます

10月2日（金）一日（書記局会議）

10月16日（金）午後2時～（書記局会議）

○お問い合わせは支部事務所☎03―3963―5325

前進座
創立95周年記念公演
「出雲の阿国」
特別割引4000円



日曜健康診断のご案内

2026年10月18日（日）
【実施場所】高島平診療所（定員60名）
【申込締切】10月1日（木）

2026年10月25日（日）
【実施場所】小豆沢病院（定員70名）
【申込締切】10月5日（月）

2026年11月22日（日）
【実施場所】下赤塚診療所（定員50名）
【申込締切】11月5日（木）

2026年11月22日（日）
【実施場所】小豆沢病院（定員50名）
【申込締切】11月2日（月）

◇平日の健診もご利用ください（予約が必要です）

※日曜健診は午前のみの受付となります。午後はお申込みできませんのでご注意ください。
※オプション健診は有料です。申込時に費用を組合へ納入下さい。分会経由で納入する場合は群会議でお支払いください。

項目	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	基本健診	胃がん	胃がん	骨粗鬆症	じん肺	有機溶剤	大腸がん	前立腺がん
		（カメラ）平日のみ	（バリウム）			（キシレン・トルエン・エチルベンゼン選択）		
費用	無料	8,000円 50歳以上の土建国保加入者3000円	3,000円 50歳以上の土建国保加入者無料	2,000円	1,000円	1,000円	1,000円 40歳以上の土建国保加入者基本に含む	1,000円 50歳以上の土建国保加入者は無料

※日曜健診は予約制です。必ず組合へお申し込みください。
問い合わせ先／東京土建板橋支部　TEL 03-3963-5325

建築業界で働きながら学ぶ
お互いを高め合える仲間と出会える




授業・学校見学お気軽に

東京建築カレッジの2つの特徴
①日本における建築の基本は木造にある、という考え方で、伝統的な大工技術を通して建築の基礎を学びます。
②働きながら学ぶスタイル。入学生は全員が建築従事者です。事業主が原則、教育費を負担するので、新規入職者は安心。

2027年4月入学生募集中
就職相談も受付中！相談はお気軽にくわしくは　学校webサイトをご覧ください。

厚生労働省所管、東京都認定　職業能力開発短期大学校
東京建築カレッジ
〒170-0014 東京都豊島区池袋1-8-6
TEL03-5950-1771　✉ info@doken-college.ac.jp